

## ● ミュシャ企画展「アフィショマニ！ミュシャマニ！」

今もなお収集欲をかき立てられる19世紀末パリのポスター文化に浸ることができる展覧会です。当時の「アフィショマニ」（ポスターマニア）たちを熱狂させた、ミュシャ・スタイルのポスターの魅力、デザイナーとしてのミュシャの才能も存分に楽しめます。

問 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (☎222-5533 FAX222-6833)

### 見どころ

- 1 「ポスターの巨匠たち」48点を一挙公開！  
収集家向けに販売された縮小版版画集「ポスターの巨匠たち」から1895年の収録作品を展覧します。
- 2 パリのトップ・デザイナーミュシャ！  
ポスターから装飾パネル、ジュエリーに至るまでパリの日常を潤したミュシャ・スタイルの世界を堪能できます。
- 3 リトグラフを特集展示！  
19世紀末のポスター人気を支えたリトグラフ印刷を紹介。ミュシャ、シェレ、ロートレックのリトグラフの表現の違いにも注目です。

### 企画展

- 日時 8月3日～12月1日  
9時30分～17時15分  
入館は16時30分まで
- 場所 堺 アルフォンス・ミュシャ館  
(堺市駅前)
- 有料 入館料
- 休館 月曜日（祝休日の場合は開館）、  
祝休日の翌日(8月13日は開館)



◀ランスの香水「ロド」▶ 1896年  
当時販売されていた香水の展示もあります。



詳しくは→

## ● 青龍鉾人形のめざめー200年の時を超えてー

鉄炮鍛冶屋敷に伝わり、今回初公開となる「青龍鉾（せいりゅうぼこ）人形」をはじめとした、青龍鉾に関わる資料を展示します。

問 文化財課 (☎228-7198 FAX228-7228)

### 「青龍鉾人形」再生プロジェクト

青龍鉾人形の保存修理のため、クラウドファンディングを実施します。

期間 8月1日～10月29日



※ページは  
8月1日10時  
に公開

寄附は↑

### 見どころ

- 1 200年前の「青龍鉾人形」を初公開！  
文政7年（1824年）に作られた「青龍鉾人形」の実物資料を初めて公開します。
- 2 堺にもあった！？祇園祭のような鉾  
江戸時代の菅原神社の祭礼に出された鉾の雰囲気、展示資料から味わえます。



青龍鉾人形

### 企画展

- 日時 7月31日～10月28日10～17時
- 場所 鉄炮鍛冶屋敷（堺区北旅籠町西1丁3-22）
- 有料 入館料 休館 火曜日

### 展示解説

- 日時 8月1日・9月1日14～14時30分  
各日12時から整理券配布。先着順

### ミニ講座

- 日時 10月26日10時30分～11時30分・14～15時
- 申込 8月2日からパソナジョイナス（☎FAX224-1155）へ。  
先着順



詳しくは↑

## ざがいつこ

誰もが持っている一枚の紙

浅香山中学校 三年  
川崎 ひな（かわさき ひな）

「いじめは良くない。」誰もが一度は聞いたことがある言葉だと思う。いじめとは「してはいけないこと」であると私は認識している。だけど実際「自分はしていない。」と言いきることが出来るだろうか。

「人の心は一枚の紙である。」ある日、私はこの言葉を耳にした。最初は何を言っているのか分からなかった。だけど、これは例えである。人に悪口を言っていると、その人の心、つまり一枚の紙は「クシャ」としてわなくなってしまふ。その人の心に悪口がたまっていくと、やがてグシャグシャになってしまふ。「ごめん。」とあやまると、その紙はもとに戻ろうと開いていく。だけど、一度ついた跡がもとに戻ることはない。つまりそれが、その人の心について「傷」なのである。この傷は簡単には治らない。一生の傷となってしまうことだってある。

人の心は私たちが目で見ることはできない。だからこそ、見えるものよりも大切にしないといけないものなのだと思う。



※この作品は中学校二年生の時に書かれたものです。